

大会での西多摩支部の活動報告から

西多摩支部では昨年10月、支部会館と隣接する駐車場で「防災フェア」を開催しました。当日は、①倒壊家屋からの救助訓練、②チェーンソー取り扱い実演、③福生消防署羽村出張所によるけむりハウス体験、④初期消火訓練、⑤AEDを使った救命救急、⑥起震車体験の防災グッズ・防災食の展示、⑧組合員の事業所による防災無線の展示、⑨工学院大学の鈴木教授と生徒さんたちによるタンホールシミュレーションの展示、⑩家具転倒防止器具・金具の展示、⑪耐震補強模型の展示、⑫西多摩地域内の自治体の防災マップの展示、⑬防災食の炊き出しと配布などを実施しました。

「防災フェア」でPR 自治体との協力発展させる

仲間の仕事確保の運動の土台となる活動として、各支部では防災活動が広がっています。西多摩支部では、分会の枠を超えて各地域で工作教室を共同運営してきた経緯があり、さらに自治体との防災協定締結、あきる野市や瑞穂町の防災訓練に参加・協力しています。また、羽村地域においては2016年の協定締結と連動して防災協力の員の募集がすすめられてきました。しかし、そうした取り組みは支部全体のものにはなっており、分会や地域ごとの受け止め方にも温度差がありました。



防災フェアの会場の様子

仲間の存在を地域住民や自治体にPRしていくうえで、地域防災の取り組みは欠かすことのできない課題です。いつ起きるかわからない首都直下型地震への住民不安を払しょくし、私たちの経験や技術、被災地での活動などを地域住民や自治体の首長、職員、議員のみなさんに知ってもらうために防災活動を前面に押し出した取り組みが必要なことから「防災フェア」を開催しました。



報告する 式場さん

地域住民との絆も強める

新年度(2019年)は、支部結成50周年記念イベントを開催する予定であることから、防災フェアは実施しませんでした。倒壊家屋からの救助訓練については、支部独自の実施や多摩西ブロック内の支部とも協力し、合同での訓練を検討・実施しますし、もちろん周年イベントでも仕事や技術対策にかかわる取り組みを計画していきます。

今後、自治体や地域諸団体に向けては、①防災協定未締結の自治体(福生市、青梅市、奥多摩町、日の出町)への働きかけ、②福生消防署との防災協定締結の働きかけ、③小作台西町内会主催の防災訓練への参加・協力、④自治体、町内会などとの協力関係を築き、各分会が開催する住宅改修の充実と地域住民の住宅改善要求に対応する組織であることを広げていきたいと思えます。

各支部の取り組みが 働く仲間の元気に



功刀さん

【西多摩・防水・功刀映記】昨今の建設産業は、慢性的な人手不足・労働環境改善など、まだまだ課題が山積み。そんな中、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。新国立競技場の建設や、周辺のインフラ整備が進む中で、建設産業も少しは盛り上がりを見せるのかと思いきや、花形である競技場の建設現場で大成建設の下請の23歳の現場監督の自殺や、約6割にあたる下請業社で違法な長時間労働や残業代未払い・パワハラなどの法令違反が見つかっています。このような産業では若手は育ちませんし、3K(きつい、汚い、危険)脱却にも程遠いでしょう。

実践する喜びを教わる



藤田さん

しかし、分散会や分科会で他支部の仲間の取り組み(アンケート調査や駅頭宣伝・企業交渉など)が現場で働く仲間の勇気となっていることをあらためて認識。少しずつではありますが、元請会社の意識や現場の労働環境改善などが開通されます。

若い参加者がふえた

明るい未来はある



原沢さん

【豊島・大工・原沢修記】今大会は、私には最後の参加になると思っています。そんな中、2年連続選挙になりましたが、質疑、討論は活発で、東京土建の行く末は安定していない、明るい未来が見えてきた

【北・配管工・諸江功記】日本はデフレ下で実質賃金を下げてきた。下落が始まったのは橋本政権から。アベノミクスという経済政策、緊縮財政とデフレからの脱却をスロガンに掲げた政権下では、実態はますますデフレ化し実質賃金は下落、消費は減り、国民はますます貧しくなっています。

統計詐欺政権にノーの一票

【北・配管工・諸江功記】日本はデフレ下で実質賃金を下げてきた。下落が始まったのは橋本政権から。アベノミクスという経済政策、緊縮財政とデフレからの脱却をスロガンに掲げた政権下では、実態はますますデフレ化し実質賃金は下落、消費は減り、国民はますます貧しくなっています。

社会全体の仕事への意識の変化が必要



西村さん

【日野・空調・西村滋雄通信員】つい最近、仕事帰りの車の中で「27歳の建設会社の社員が1カ月100時間



諸江さん

【日野・空調・西村滋雄通信員】つい最近、仕事帰りの車の中で「27歳の建設会社の社員が1カ月100時間

支部の仲間を還元したい

【杉並・消防設備・石川雅昭通信員】3年続けて参加です。基調報告で、健康調査の受診率は50%に迫るのに特定保健指導の実施率は1桁台というのは、まず残念な驚きでした。多岐にわたる基調報告からは東京土建の活動の幅広さをあらためて感じました。他支部の仲間と触れ合う中で、彼らが知恵を絞って、たまたかっで学んでいるその知識を得ることができました。得たものを少しでも杉並の仲間にも還元していきたくです。



石川さん

【多摩西にも多い。理由としては、就業日数が減ってしまうと収入自体も減ってしまうということだ。逆に考えれば、この問題を解決することができれば、週休2日制は賛同者が増え、大きく前進するのだからと感ずる。解決策として考えられるのは、月給制の導入だろう。現在建設業界で多く採用されている日給月給制では、年末年始、お盆など長期休暇がある月は収入が下がるという問題があるが、月給制導入でこういった問題も解決できる。業界の制度を大きく変えることになり、生半可な覚悟では達成できないだろうが、ここで気合を入れ、組合員一同団結して取り組み、導入を目指していきたく。

収入減らさないためには 月給制の導入で

【多摩西にも多い。理由としては、就業日数が減ってしまうと収入自体も減ってしまうということだ。逆に考えれば、この問題を解決することができれば、週休2日制は賛同者が増え、大きく前進するのだからと感ずる。解決策として考えられるのは、月給制の導入だろう。現在建設業界で多く採用されている日給月給制では、年末年始、お盆など長期休暇がある月は収入が下がるという問題があるが、月給制導入でこういった問題も解決できる。業界の制度を大きく変えることになり、生半可な覚悟では達成できないだろうが、ここで気合を入れ、組合員一同団結して取り組み、導入を目指していきたく。



木下さん

【多摩西にも多い。理由としては、就業日数が減ってしまうと収入自体も減ってしまうということだ。逆に考えれば、この問題を解決することができれば、週休2日制は賛同者が増え、大きく前進するのだからと感ずる。解決策として考えられるのは、月給制の導入だろう。現在建設業界で多く採用されている日給月給制では、年末年始、お盆など長期休暇がある月は収入が下がるという問題があるが、月給制導入でこういった問題も解決できる。業界の制度を大きく変えることになり、生半可な覚悟では達成できないだろうが、ここで気合を入れ、組合員一同団結して取り組み、導入を目指していきたく。

